

政策シート 政策名 01 秘書・表彰業務の推進

予算費目名 01 秘書管理費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 07 地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後)	◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
政策の柱 (10年後)	◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 ◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策 03 人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

市民と市長、副市長との相互理解を進め、意思を共有することにより、市民本位の市政を実現する。市長からの特命事項に対し、組織にとらわれない機動的な政策立案・調整を迅速かつ的確に行うなど、政策面において市長を補佐することで市長のトップマネジメントを強化する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	45,110	44,604	41,261	43,996		
決算	38,526	30,814	29,286			
人件費(報酬等)(A)	31	31	31	62		
人件費(人工分)(B)	77,000	70,000	63,000	63,000		
年間経費(予算又は決算+A+B)	115,557	100,845	92,317	107,058		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
市制記念日認知度(%)	率	目標	57	57	58	58	59	60
		実績	40.3	41.2	41.0			
市歌認知度(%)	率	目標	46	46	47	48	49	50
		実績	41.4	36.6	51.4			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

市民と市長、副市長との相互理解を進め、意思を共有することにより、市民本位の市政を実現する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・市長、副市長のトップマネジメント機能を発揮するための秘書業務を遂行するとともに、市長、副市長が出席する会議等に積極的に参加し、政策の決定や市政運営の推進に際し、判断の円滑化に貢献することができた。 ・2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市制記念式の規模を縮小し、市勢功労者表彰などの式典のみを行った。今後も市歌の周知を含め、認知度向上を意識しながら改善を図っていく。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	市長・副市長秘書管理事業	—	—	○		71,745	29,683	6.0				62
2	市制記念式典開催事業	—	—	○		11,313	4,313	1.0				
3	政策調整事業	—	—	○		24,000	10,000	2.0				
4	市民栄誉賞事業	—	—	—								
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						107,058	43,996	9.0				62

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	07	03	01	01	000305000	01	秘書課	仲井 英之	2022.7.1

事業シート (事業名) 01 市長・副市長秘書管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市政を円滑に運営するため、市長・副市長の市内外の行動に伴う秘書業務を遂行するとともに、政策全般について情報の収集をするため各種市長会事業への参画や要望活動について必要なサポートを行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1911	-	一般会計	-	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	31,029	29,394	28,968	29,683		
	決算	27,007	22,823	22,999			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	27,007	22,923	22,999	29,683		
人件費(報酬等)(A)	31	31	31	62			
人件費(人工分)(B)	42,000	42,000	41,300	42,000			
人工	正規	6.0	6.0	5.9	6.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		69,038	64,854	64,330	71,745		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・市長、副市長の市内外の行動に伴う秘書管理業務を行う。
- ・市の政策全般について情報収集を行い市長及び副市長のスケジュールに反映させる。
- ・各種市長会、G1サミット及びプラチナ懇談会などへの積極的参加に努め、市政の発展に繋げる。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市長、副市長のトップマネジメント機能を発揮するための秘書業務が遂行できた。
- ・市長、副市長が出席する会議等に積極的に参加し、政策の決定や市政運営の推進に際し、判断の円滑化に貢献することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
市長表敬訪問等で贈呈する記念品の購入経費の見直しを行い、経費の削減に努めた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
政策の実現に向けて市長副市長の秘書管理業務は必要不可欠である。今後も引き続き見直しを図りながら、事業を推進していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・市長、副市長の市内外の行動に伴う秘書管理業務を行う。
- ・市の政策全般について情報収集を行い市長及び副市長のスケジュールに反映させる。
- ・各種市長会、G1サミット及びプラチナ懇談会などへの積極的参加に努め、市政の発展に繋げる。

事業シート (事業名) 02 市制記念式典開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

これからの市の発展を願い、市勢に功労のあった方に謝意を表し、その功績を称え、市の誕生を祝う式典を実施することで浜松市民の一体感の醸成を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1911	-	一般会計	-	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,081	5,210	1,862	4,313		
	決算	3,465	634	1,860			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	3,465	634	1,860	4,313		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	7,000	7,000	7,000		
人工	正規	1.0	1.0	1.0	1.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,465	7,634	8,860	11,313		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
市制記念日認知度(%)			目標	57	57	58	58	59	60
			実績	40.3	41.2	41.0			
市歌認知度(%)			目標	46	46	47	48	49	50
			実績	41.4	36.6	51.4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
07 03 01 01 000305000 02 秘書課 仲井 英之 2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。
- ・同日開催の市制記念式典において、市勢の発展又は公益の増進に寄与し、特に功績のあった方を市勢功労者として表彰するとともに、浜松市の歴史や未来を考える日としてお祝いする。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市制記念日については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市制記念式典の規模を縮小し、市勢功労者表彰のみを行った。毎年、市制記念日を周知するとともに、郷土愛の醸成や、市の政策を助長する等の企画検討を行っている。今後も認知度向上を意識しながら、市制記念日の周知、広報の方法や記念事業の内容について改善を図っていく。
- ・市歌については、2015年6月から開始したカラオケ配信の活用や、包括連携協定を活用して市内商業施設等での市歌の放送などを含め、地域や世代等のターゲットを明確にした施策を検討していく。また、市歌を学校行事等を通じて知った人が多いと思われるため、今後、さらに認知度が上がっていくものとする。
- ・2021年度において、包括連携協定を締結している浜松いわた信用金庫と協力し、市内55店舗に設置されたモニターで市歌合唱の映像を放送し、プラタナスコンサートでは市歌合唱動画を募集し、浜松市歌リモート大合唱として動画配信するなどの取り組みを行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2017年度から、市制記念式典の来場者を対象にアンケートを実施し情報収集を行っている。2020年度は市制記念式典を中止したためアンケートの実施はできなかったが、過去のアンケート結果を再分析するとともに、他政令指定都市の状況を確認し、時代に合った式典内容にするための検討を行った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。今後も市制記念日の認知度向上を意識しながら、市制記念日の周知、広報の方法や記念事業の内容について改善を図っていく。市歌についても更なる認知度向上のための工夫を検討していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。
- ・同日開催の市制記念式典の中では市民団体による活動発表や、地域の伝統文化などの魅力発信をしていく中で郷土愛の醸成を図るものとする。

事業シート (事業名) 03 政策調整事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

特命事項に円滑かつ迅速に対応するため、関係部局が調査研究等に要する経費を措置する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2018	—	一般会計	—	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,000	10,000	10,000	10,000		
	決算	8,054	7,357	4,099			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,054	7,357	4,099	10,000		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	28,000	21,000	14,000	14,000		
人工	正規	4.0	3.0	2.0	2.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		36,054	28,357	18,099	24,000		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
07 03 01 01 000305000 03 秘書課 仲井 英之 2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

特命事項の事業化に向けた基礎的な調査や他自治体の研究、庁外関係機関との調整等を行う。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

特命事項62件(新規37件、継続25件)について調査研究等を行った。うち30件については2021年度に事業化されるなど実施済となり、32件は来年度も引き続き調査研究等を行っていく。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

特命事項の事業化に向けた基礎的な調査や他自治体の研究、庁外関係機関との調整等を計画通り実施することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

所管部局と連携しながら本事業を有効に活用し、調査研究等を適宜実施することで、特命事項の具現化に向けて引き続き積極的に取り組む。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

特命事項の事業化に向けた基礎的な調査や他自治体の研究、庁外関係機関との調整等を行う。

事業シート (事業名) 04 市民栄誉賞事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民又は市に縁故の深い者で、市民に希望を与えることに顕著な功績のあったものに対し、浜松市市民栄誉賞を授与する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計	—	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			431			
	決算			328			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			328			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700			
人工	正規			0.1			
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				1,028			

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
07 03 01 01 000305000 04 秘書課 仲井 英之 2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・2021年夏に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において金メダルを獲得した本市出身選手2名(渥美万奈氏、鈴木孝幸氏)に対して浜松市市民栄誉賞を贈呈した。
・また、アトランタ・シドニー・アテネパラリンピック競技大会での金メダル5個を含むパラリンピック日本人最多の通算21個のメダル獲得といった実績に加え、東京2020パラリンピック競技大会において選手団長を務めた河合純一氏に浜松市市民栄誉賞を贈呈した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 達成

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における本市出身選手等の活躍を受け、速やかに浜松市市民栄誉賞を創設し、市民又は市に縁故の深いもので金メダルを獲得した選手等に表彰状と記念品を贈呈した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 人工

市民又は市に縁故の深いもので、オリンピック・パラリンピック競技大会での金メダルの獲得など市民に希望を与えることに顕著な功績があったものに対し、その功績を称えるため浜松市市民栄誉賞を創設し、該当する3名の方に贈呈した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 人工

スポーツや文化などの各分野で活躍する市民又は市に縁故の深いものの活躍について、関係部局とも連携しながら積極的に情報を収集する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

スポーツや文化などの各分野で活躍する市民又は市に縁故の深いものの活躍について、関係部局とも連携しながら積極的に情報を収集する。